

株主メモ

決 算 期 3月31日
定時株主総会 6月
基 準 日 3月31日

なお、その他必要があるときは、あらかじめ公告した日

名義書換代理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同 連 絡 先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-232-711(通話料無料)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)

☎0120-244-479(本店証券代行部)

☎0120-684-479(大阪証券代行部)

インターホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

単元の株式数 100株

公 告 掲 載 紙 日本経済新聞

当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を
<http://www.aspir.co.jp/kessan/4659/4659.html>
に掲載しております。

届出諸事項の
変更について 住所、氏名、届出印、法人株主の代表者あるいはその
役職名、商号、配当金の振込口座等の変更は、三菱
UFJ信託銀行の本店・支店 でお手続きください。

お手続きについては、株式会社証券保管振替機構に株券
を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出
ください。

株主優待制度

1. 割当基準日 9月末日

2. 優待内容 (1) 100株以上1,000株未満所有の株主様
お米券3kgを贈呈いたします。
(2) 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
お米券5kgを贈呈いたします。
(3) 10,000株以上所有の株主様
お米券10kgを贈呈いたします。

ajisエイジス

コーポレートマークの由来
ロゴマークは、ローマ字・キータッチ・カタカナの三位体
で構成されています。またエイジスのコーポレートカラー
である白・青・赤は、白＝お客様に対して誠実に仕事を
する姿勢、青＝冷静・沈着な作業態度、そして赤＝エ
イジスマン・ウーマンの胸に秘めた情熱を表しています。

株式会社エイジス

〒262-0032
千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
TEL. 043-350-0888 FAX. 043-350-0800

r2100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH
SOY INK

“ Low Cost Operation ”時代の棚卸システム

ajisエイジス

(証券コード:4659)



(株)エイジスがよくわかるディスクローズ誌

第29期 中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

28期連続増収・8期連続増収増益をめざし、グループ全体の総合力を高めています。



代表取締役社長
芦部克生

Q 当上期の業績とその理由についてお聞かせください。

当上期を振り返りますと、売上高が前年同期実績を上回って伸びる中、期初計画通りの営業利益率を維持することができ、業績は堅調に推移しております。

売上概況について見ますと、とくにホームセンター、ドラッグストア、ディスカウントストアなどの業態において前年同期比31.8%増と伸長し、売上高増に大きく貢献しました。加えて、スーパーマーケットで前年同期比11.4%増、その他業態(専門店チェーンなど)で前年同期比12.0%と売上増を達成しました。前期から注力してきた新規開拓に加え、既存顧客の深耕によって受注店舗数やフロア面積などが拡大したことが売上増に結びついています。

加えて当上期の特徴としては、専属調査員による覆面調査を代行する「カスタマーサービスチェック」が、流通業以外のホテルやレストランなどへ対象が拡大したことがあげられます。すでに米国では当たり前の

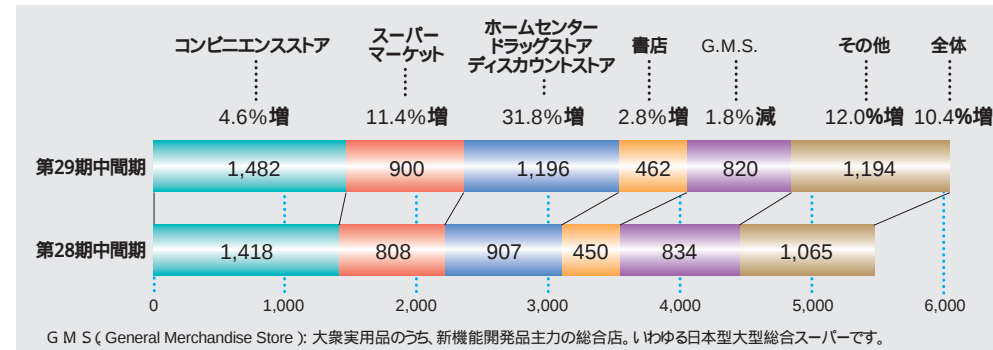
サービスですが、国内への定着も加速する流れにあり、今後の成長部門と期待しています。

利益面では、子会社・株式会社コマースサービスシステム・ジャパン(以下、「CSS・J」といいます)による人材の確保・供給が効率的に行われたことが利益率の維持につながりました。

しかし残念ながら、当上期は売上・利益ともに計画数値に対してわずかに未達という結果に終わっています。営業利益の未達の背景には、今後の10年、20年の成長をにらんだ先行投資を継続していることがあり、とくに人材面においては、管理部門の専門家やD.Mgr.候補者を外部から採用し人的基盤の強化につとめてきました。下期以降はこうした投資をバネに、まずは計画数値を達成し、当期末には「28期連続増収・8期連続増収増益」というニュースを皆様にご報告できるよう事業に進進してまいります。

D.Mgr.(District Manager)とは営業所の所長のことです。

■業態別の棚卸事業売上高(単位:百万円)

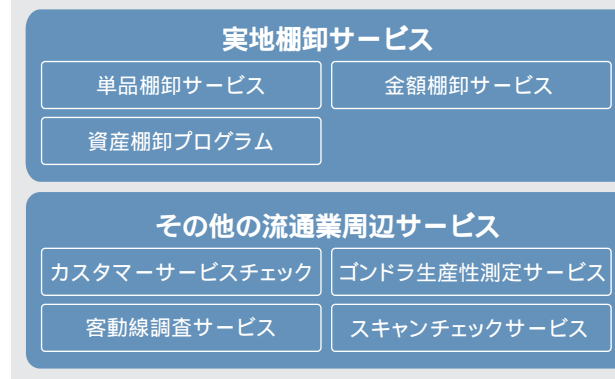


Q 下期以降の成長戦略についてお聞かせください。

下期の経営のポイントとしては、大手G.M.S.やコンビニエンスストアなどで進む単品棚卸化の流れに対応した、新しいオペレーションシステムの確立があげられます。というのも、現物スキャンを行う単品棚卸は、従来主流であった金額と個数を機器に入力する金額棚卸よりも、作業工程が増えるため、作業効率の向上が不可欠です。当社では、IE分析(作業・工程分析)をもとに効率的なオペレーションシステムを開発し、生産性・精度を向上してサービスの充実をはかってまいります。

また子会社各社の経営を軌道にのせ、成長させていくこともグループ経営において重要なポイントです。人材派遣業務を行うCSS・Jでは下期、組織を変更し、当社の棚卸サービスへ人材を供給する「棚卸派遣事業部」と、レジ派遣

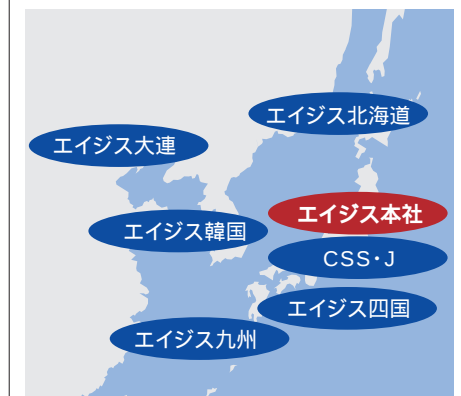
■エイジスグループの多様なサービス



や商品補充などの「その他流通業周辺サービス」を担う「一般派遣事業部」の2部門としました。それぞれに特化した人材を確保することでサービスの質の向上をはかることが狙いです。とくにその他流通業周辺サービスの売上高は急伸しており、CSS・Jの両部門が車の両輪となってグループ全体の業績に大きく貢献していくものと考えています。

また海外子会社(当社100%出資)に目を転じますと、2003年に設立された韓国の現地法人エイジスビジネスサポート株式会社(以下、「エイジス韓国」といいます)は、前期来、コンビニエンスストアと韓国系割引店に加え、新たに英国系・米国系のスーパーセンターの受注を獲得し、日本国内以上のスピードで成長中です。現

■エイジスグループ拠点



地採用のクルーが経験とキャリアを積むことによって、さらなる業務の拡大を予測しています。

一方、昨年6月に棚卸システムの開発拠点として中国に設立した大連愛捷是科技有限公司(以下、「エイジス大連」といいます)では、人材の採用・教育が進み、事業基盤の確立が進んでいます。引き続きエイジス大連では、大手G.M.S.やコンビニエンスストアなどにおける単品棚卸システムなど、顧客のニーズに合わせた高品質かつ低コストの棚卸システムの開発を行ってまいります。

最後になりましたが、下期においても引き続き株主の皆様のご期待に応えるべく、増収増益を目指して事業に取り組んでまいります。ご期待ください。

割引店: 大型総合店ディスカウントストア

お客様からの声を 品質・サービス向上に役立てています。

エイジスは顧客満足度の向上を図るべく、流通小売業のお客様の本部に加えて店舗の責任者とのコミュニケーションを通してサービスの改善に努めています。



お客様の本部とご意見を交換しています。

エイジスのお客様には、チェーンストアで多店舗展開している流通業・小売業が多いこともあり、お客様とご意見の交換は、棚卸後には総括資料としてまとめ、お客様の本部に提出しています。資料の内容としては、棚卸時の作業上の問題点や棚卸作業時間短縮などの改善対策を立て、お客様と状況を共有するとともに、社内関係スタッフに周知徹底し次回棚卸時のサービス・精度向上に役立てています。

また、お客様のご要望に応じて店舗における陳列状況および破損商品の有無なども指摘しており、お客様の店舗自体のサービス向上に役立てられるよう配慮しています。

店舗のご担当者とご意見を交換しています。

お客様の本部と上述した意見交換を行う一方で、実地棚卸を行う店舗の管理者の方々とも「お客様アンケート」を通してコミュニケーションを実施し、サービス向上に役立てています。また、お客様からのアンケートを社内掲示することで、従業員の意識向上にも役立てています。

アンケート対応手順

1. 棚卸当日、店舗責任者にアンケート用紙を手渡し。
2. アンケートがエイジス本部に到着(FAXか郵送)。
3. エイジス本部は、アンケートをデータベースに入力。
4. D O (営業所) は指摘事項等があった店舗様に連絡を入れ、アンケートの御礼と店舗様指摘事項等の対策を連絡する。
5. データベースに対策を入力。
6. 次回棚卸時にアンケート指摘事項を確認し、同じ指摘を受けないようにする。

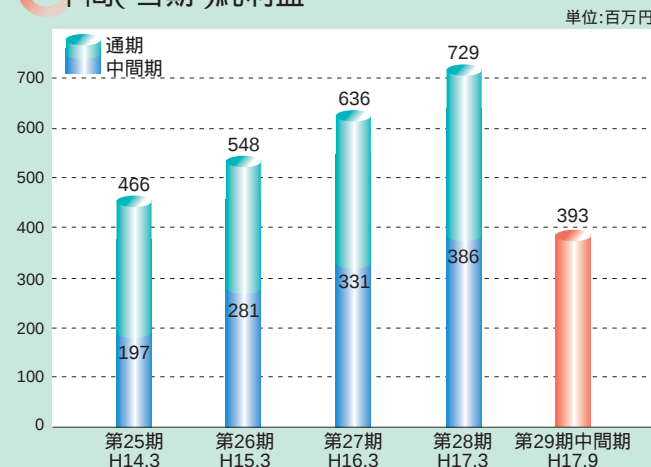
お客様の声

- エイジス従業員が実施棚卸作業中、明るく「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」の声かけをしてくれたので私達も明るく作業ができた。
- 買い物にいらっしゃったお客様最優先で作業をして頂いた。
- エイジスが行うお客様への「いらっしゃいませ・ありがとうございました」等の挨拶により、店舗従業員がお客様に挨拶しやすい雰囲気になった。
- 商品を丁寧に扱って頂きありがとうございます。あとからそのことがわかった時、嬉しかった。
- アンケートで前回改善をお願いした項目が今回の棚卸では改善されていた。

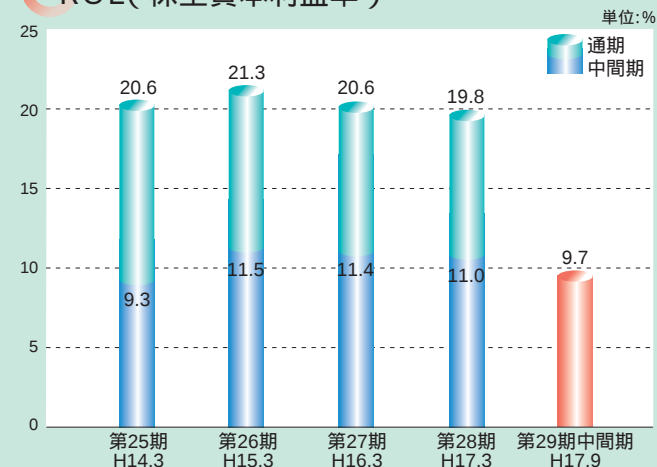


個別財務ハイライト

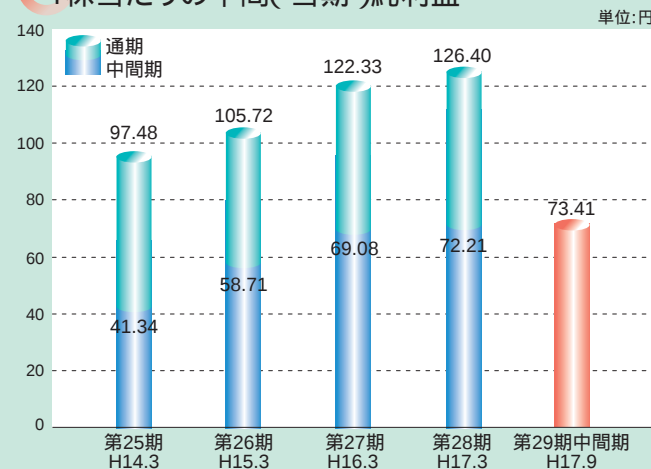
中間(当期)純利益



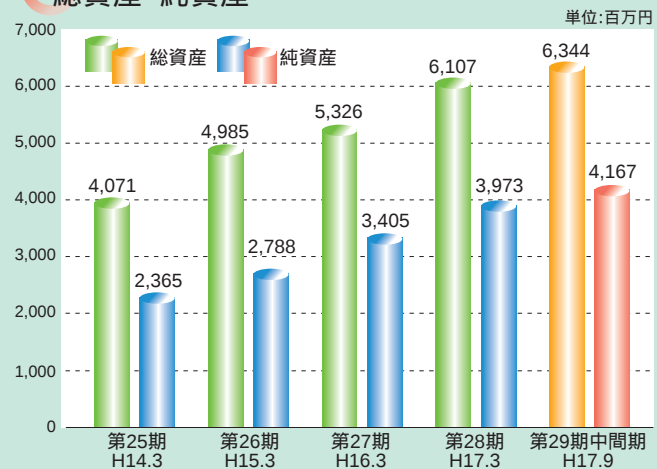
ROE(株主資本利益率)



1株当たりの中間(当期)純利益



総資産・純資産



(注) 当社は第28期より連結財務諸表を作成しておりますが、第27期以前との業績比較を可能にするため、本ページでは個別の数字を記載しております。

営業概況(連結)

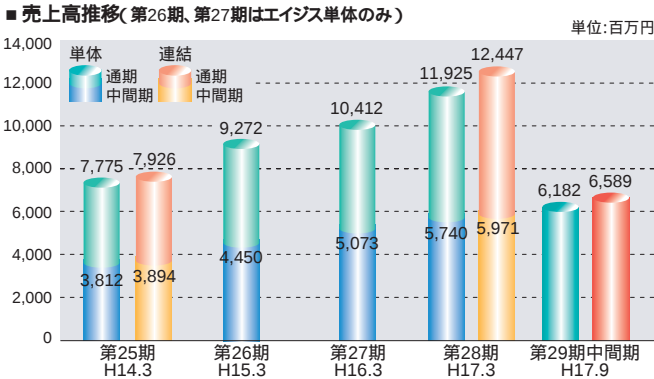
当中間連結会計期間の棚卸受託収入の合計は6,056百万円となり、ロイヤリティ収入の50百万円を加えると、**実地棚卸サービス事業**の合計は6,106百万円(前年同期比10.3%増)となりました。その他の流通業周辺サービス事業の売上高75百万円、人材派遣事業の売上高407百万円を加えた当中間連結会計期間の売上高は6,589百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

収益面では、経常利益643百万円(前年同期比1.1%減)、中間純利益383百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

実地棚卸サービス事業

棚卸受託収入の売上高は前年同期比10.4%増の6,056百万円となりました。業態別の内訳は下記のとおりです。

- コンビニエンスストア
既存大手顧客の新規出店に伴う受注増により、売上高は前年同期比4.6%増の1,482百万円となりました。
- スーパーマーケット
新規大手顧客の獲得により、売上高は前年同期比11.4%増の900百万円となりました。
- ホームセンター・ドラッグストア・ディスカウントストア
ターゲット業態として集中的に営業活動を実施した結果、新規顧客の獲得と既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比31.8%増の1,196百万円となりました。
- 書店
既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比2.8%増の462百万円となりました。
- G M S .
既存大手顧客の受注減により、売上高は前年同期比1.8%減の820百万円となりました。
- その他
新規大手チェーンの獲得と既存チェーンの受注増により、売上高は前年同期比12.0%増の1,194百万円となりました。

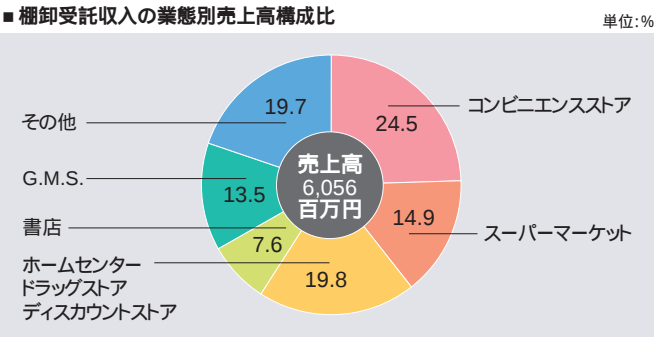


その他の流通業周辺サービス事業

カスタマーサービスチェックは新規顧客を多数獲得しましたが、周辺サービスは既存顧客の受注減となり、売上高は前年同期比18.0%減の75百万円となりました。

人材派遣事業

流通業の顧客の獲得により、売上高は前年同期比76.5%増の407百万円となりました。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期末 (H16.9.30現在)	当中間期末 (H17.9.30現在)	前期末 (H17.3.31 現在)
資産の部			
流動資産	3,876	4,259	4,022
固定資産	1,953	2,138	2,057
繰延資産	0	0	0
資産合計	5,829	6,398	6,080
負債の部			
流動負債	1,855	1,995	1,863
固定負債	421	282	281
負債合計	2,276	2,277	2,145
資本の部			
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	2,605	3,137	2,966
その他有価証券評価差額金	14	52	37
自己株式	30	34	33
資本合計	3,553	4,120	3,935
負債・資本合計	5,829	6,398	6,080

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期 (H16.4.1～H16.9.30)	当中間期 (H17.4.1～H17.9.30)	前期 (H16.4.1～H17.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	504	203	1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	191	134	412
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	30	353
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	-	-
現金及び現金同等物の増加額	165	38	330
現金及び現金同等物の期首残高	1,696	2,027	1,696
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,861	2,065	2,027

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期 (H16.4.1～H16.9.30)	当中間期 (H17.4.1～H17.9.30)	前 期 (H16.4.1～H17.3.31)
売上高	5,971	6,589	12,447
売上原価	4,545	5,058	9,622
売上総利益	1,425	1,530	2,824
販売費及び一般管理費	807	891	1,574
営業利益	618	638	1,250
営業外収益	37	9	48
営業外費用	5	4	9
経常利益	650	643	1,288
特別利益	0	13	0
特別損失	-	-	0
税金等調整前中間(当期)純利益	651	657	1,288
法人税、住民税及び事業税	291	288	566
法人税等調整額	15	15	15
中間(当期)純利益	375	383	737

中間連結剰余金計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期 (H16.4.1～H16.9.30)	当中間期 (H17.4.1～H17.9.30)	前 期 (H16.4.1～H17.3.31)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	489	489	489
資本剰余金増加高	0	-	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	489	489	489
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	2,398	2,966	2,398
利益剰余金増加高	375	383	737
利益剰余金減少高			
配当金	121	160	121
役員賞与	48	52	48
利益剰余金中間期末(期末)残高	2,605	3,137	2,966

個別財務諸表

個別中間貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期末 (H16.9.30現在)	当中間期末 (H17.9.30現在)	前期末 (H17.3.31 現在)
資産の部			
流動資産	3,790	4,076	3,918
固定資産	1,987	2,267	2,188
繰延資産	0	0	0
資産合計	5,777	6,344	6,107
負債の部			
流動負債	1,746	1,893	1,852
固定負債	421	282	281
負債合計	2,167	2,176	2,134
資本の部			
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	2,661	3,185	3,004
その他有価証券評価差額金	14	52	37
自己株式	30	34	33
資本合計	3,610	4,167	3,973
負債・資本合計	5,777	6,344	6,107

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別中間損益計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前中間期 (H16.4.1～H16.9.30)	当中間期 (H17.4.1～H17.9.30)	前 期 (H16.4.1～H17.3.31)
売上高	5,740	6,182	11,925
売上原価	4,331	4,708	9,180
売上総利益	1,409	1,473	2,744
販売費及び一般管理費	757	832	1,482
営業利益	651	641	1,262
営業外収益	14	12	25
営業外費用	4	2	7
経常利益	661	651	1,279
特別利益	0	13	0
特別損失	-	-	0
税引前中間(当期)純利益	661	665	1,279
法人税、住民税及び事業税	291	287	564
法人税等調整額	15	15	15
中間(当期)純利益	386	393	729
前期繰越利益	172	241	172
中間(当期)末処分利益	558	634	901

Stock Price Information

株式情報

株式の状況(平成17年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 14,000,000株
 発行済株式の総数 5,385,600株
 株主数 3,188名

大株主(平成17年9月30日現在)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
斎藤 陽子	778,800	14.46
斎藤 茂昭	716,100	13.29
斎藤 昭生	666,280	12.37
斎藤 泰範	270,670	5.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,600	4.13
野村信託銀行株式会社	164,500	3.05
斎藤 茂男	158,400	2.94
斎藤 美保子	157,700	2.92
エチエスピーシーバンク・エルシー・アカウンタフティビリティ・グループ・ファンド	150,590	2.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	145,900	2.70

(注)日本マスタートラスト信託銀行株式会社、野村信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有する株式には信託業務に係わる株式数が含まれております。

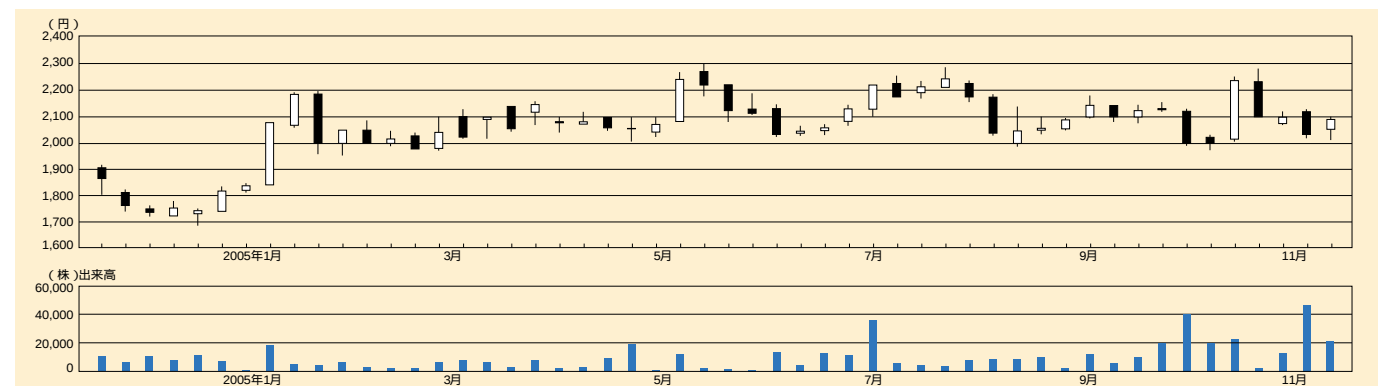
所有者別株式数分布(平成17年9月30日現在)

Category	Number of Shares	Percentage
自己名義株式	24,560株	0.46%
証券会社	16,920株	0.31%
個人・その他	4,113,770株	76.39%
金融機関	706,640株	13.12%
外国法人等	464,330株	8.62%
その他の法人	59,380株	1.10%

所有数別株式数分布(平成17年9月30日現在)

Planting Range (Trees)	Number of Households	Percentage
1 tree or less	3,430	0.06%
1 tree or more	354,140	6.58%
5,000 trees or more	2,161,180	40.13%
1,000 trees or more	1,270,360	23.59%
500 trees or more	399,196	7.41%
100 trees or more	456,700	8.48%
50 trees or more	157,334	2.92%
10 trees or more	458,660	8.52%
5 trees or more	124,600	2.31%

株価チャート



会社の概況

会社概要

商号	株式会社エイジス (英文名 AJIS CO., LTD.)
資本金	475,000,000円
代表者	代表取締役社長 芦部 克生
業務内容	・実地梱卸サービス ・その他の流通業周辺サービス
従業員	210名
主要取引銀行	・UFJ銀行 千葉支店 ・みずほ銀行 千葉支店 ・三井住友銀行 千葉支店
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp

取締役および監査役

代表取締役社長	芦部 克生
取締役副社長	芳賀 孝郎
代表取締役専務	斎藤 昭生
取締役	渡辺 克己
取締役	近江 元
取締役	山地 琢巳
取締役	仁田 善郎
取締役	竹之下 正夫
取締役	高橋 一人
取締役	秋葉 孝
取締役	五十嵐 亨司
常勤監査役	鈴木 行雄
監査役	安田 登

主要取引先

敬称・株式会社は省略させていただいております。 50音順

■コンビニエンスストア		
am/pmジャパン サークルKサンクス スリーエフ	セーブオン セブン・イレブン・ジャパン デイリーヤマザキ	ファミリーマート ミニストップ ローソン
■G.M.S. / スーパーマーケット		
イオン イズミヤ イーヨーカ堂 いなげや オークワ	西友 平和堂 ベインア マイカル マックスバリュ	マルエツ みやぎ生協 ヤマザワ ヨークベニマル ライフコーポレーション
■ホームセンター / ドラッグストア / ディスカウントストア		
カインズ カワチ薬品 ケーヨー コーナン商事 サンドラッグ CFS	スギ薬局 セキチュー 千葉薬品 ツルハ 東洋薬局 トステムビバ	富士薬品 ホームック マツモトキヨシ ユタカファーマシー ユニリピン ロイヤルホームセンター
■書店		
旭屋書店 アシーネ カルチュアコンビニエン スクラブ 紀伊國屋書店	三省堂書店 三洋堂書店 阪急電鉄(ブックファースト) 東日本キヨスク 文教堂	文真堂書店 丸善 宮脇書店 有隣堂 リブロ
■その他		
赤ちゃん本舗 アディダスジャパン エディー・パワー キャンパ 九九プラス ゼビオ	大創産業 トイザらス 東急ハンズ 西松屋チェーン ニトリ ファーストリテイリング	藤久 良品計画 ロフト ワークマン

ネットワーク

■エイジスグループ	熊谷サテライト	金沢D.O.	大分D.O.	釧路D.O.
□株式会社エイジス	大宮D.O.	富山サテライト	福岡D.O.	厚別D.O.
青森D.O.	川越サテライト	大阪D.O.	久留米D.O.	□エイジス四国株式会社
盛岡サテライト	千葉D.O.	堺D.O.	長崎D.O.	高松営業所
秋田D.O.	市原サテライト	東大阪D.O.	佐賀サテライト	徳島営業所
仙台D.O.	柏D.O.	奈良サテライト	熊本D.O.	松山営業所
山形D.O.	東京D.O.	京都D.O.	宮崎D.O.	高知営業所
郡山D.O.	吉祥寺D.O.	滋賀サテライト	鹿児島D.O.	□子会社(100%出資)
小山サテライト	八王子D.O.	神戸D.O.	沖縄D.O.	エイジスビジネスサポート株式会社
宇都宮D.O.	横浜D.O.	姫路サテライト	□エイジス北海道株式会社	(大韓民国 ソウル特別市、実地梱卸サービス)
水戸D.O.	厚木D.O.	岡山D.O.	札幌D.O.	ソウルD.O. / プサンサテライト
土浦サテライト	静岡サテライト	松江サテライト	札幌中央D.O.	株式会社コマーシャルサービスシステム・ジャパン
新潟D.O.	沼津D.O.	広島D.O.	苫小牧D.O.	(千葉市、人材派遣業)
長岡サテライト	浜松D.O.	福山D.O.	函館D.O.	大連愛捷是科技有限公司
高崎D.O.	名古屋D.O.	山口サテライト	旭川D.O.	(中華人民共和国大連市、システム開発等)
長野D.O.	四日市D.O.	小倉D.O.	北見D.O.	
松本サテライト	岐阜D.O.		帯広D.O.	

フランチャイズ3社および子会社3社を含めたエイジスグループ全体の営業ネットワークは国内、海外合わせて74営業拠点です。
(注)D.O.(ディストリクト オフィス)とは営業所のことです。サテライトとは出張所のことです。

